

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究 Close The Gap-Stroke J-ASPECT Study』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 脳神経外科 職位・氏名 教授・岩淵 聡

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科では、国立循環器病研究センターを研究代表機関とする、脳卒中を含む循環器疾患の医療の質を包括的に評価する臨床指標を策定することを目的とした研究に参加します。この研究で得られる成果は、脳卒中を含む循環器疾患の医療の質の向上につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2013年1月1日～2020年3月31日までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科において、脳梗塞、非外傷性脳内血腫、くも膜下出血、一過性脳虚血発作、もやもや病、未破裂脳動脈瘤と診断され、治療の後、退院した方。

（東邦大学医療センター大橋病院より約600症例を予定。本研究全体で年間約100,000症例を予定。）

方法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析し、医療の質を評価する指標を策定します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：主傷病名、入院契機傷病名、もしくは診療報酬明細書上の傷病名、年齢、性別、入院日、既往歴、脳卒中に関連した診療行為及び時間経過、予後等。

【外部への試料・情報の提供】

本研究は国立循環器病研究センターを研究代表機関とした、多施設共同研究です。診療録(カルテ)から抽出された情報は、あなたの個人情報が出ないように管理され、研究代表機関を通し、データ収集業務を委託された健康保険医療情報総合研究所(PRRISM)へ送られます。収集された患者さんのデータはその後研究代表機関または九州大学病院にて統計解析されます。

【研究組織】

・代表施設名：国立循環器病研究センター 研究代表医師：飯原弘二 役職：病院長

・統計解析を担当する共同研究機関：九州大学病院 脳神経外科
研究責任者：准教授 溝口昌弘

・症例データの収集・解析用データセットの作成を外部委託する業者：
健康保険医療情報総合研究所(PRRISM)
研究責任者：代表取締役社長 山口治紀

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者さん名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。患者さんご本人はもちろん、患者さんが亡くなられている場合を含め、ご家族等、代諾者の方からのお問い合わせもお受け致します。

【連絡先および担当者】

学医療センター大橋病院 脳神経外科

職位・氏名：講師・林 盛人

電話：03-3468-1251 内線：7434